

# 3・1ビキニデー集会和東京フィールドワーク

2月28日・3月1日の2日間、尾張健康友会の代表団5名が「被災71年2025年3・1ビキニデー集会」への参加と東京フィールドワークを行いました。1日目は第五福竜丸展示館、私たちの戦争と平和資料館、PTSDの日本兵と家族の交流館を訪問。2日目はビキニ環礁の水爆実験で被災しなくなった第五福竜丸の船員・久保山愛吉氏の墓参行進と献花をした後、3・1ビキニデー集会に参加しました。

※PTSDとは外傷的な出来事(トラウマ)を経験した後に発症する精神疾患のこと

## 一滴が大河に

千秋病院 在宅リハビリテーション科 片岡 幸奈  
 ビキニ環礁での水爆実験により日本近海でも海流に乗った魚たちは放射能で汚染され、放射能の雨による国内の作物にも影響が出ることを知りました。原水爆の被害は福島での事故でも分かるように、起きてからでは取り返しがつかないため、

事故をいかに起こさせないかが重要であることを痛感しました。自分も戦争の被害者であることが重要であることを痛感しました。戦争はいかに個人の

アム「私たちの戦争と平和資料館」(wam)は日本軍の性奴隷制に焦点を当てた記録と活動の拠点で、被害女性から聞き取った記録が多く展示してある中、加害者側の記録もありました。久保山氏の墓参行進、3・1ビキニデー集会には全国から1300人が参加しており、会場の熱気に驚かされました。

## 戦争は人を壊す

尾張健康友の会 岩倉支部 堀尾 金雄

wamでは、お国に命をささげる軍人の慰安のためとして侵略地域で強制的に調達された女性が提供される、そんな理不尽なことが国の権力で行われたことに怒りを覚えました。

PTSDの日本兵と家族の交流館では、戦時下における異常な体験が肉体だけでなく精神をいかに破壊し、人が人として生きていけない状態に追い込まれ、本人だけでなく家族まで被害を受けていたことを聞きました。

一人ひとりのそれぞれの草の根活動は小さな一滴でも、それが集まって大河となることにより、日本の平和が維持されているのだと感じることができまし

## 語り継ぐこと

千秋病院 リハビリテーション科 桃田 小百合

東京フィールドワークに参加し、教科書の内容が全てではなかったと知り、日本は戦後80年が経過する中で、いまだに苦しんでいる人がいることに衝撃を受けました。また、どの被害に遭った方も「私が最後の被害者になるように」と願われた思いをお聞きしました。

## 苦しみは今も

千秋病院 介護保険サービスセンター 石原 千洋子

PTSDの日本兵と家族の交流館は、5年前に黒井秋夫さんが自宅の一部をPTSDに苦しみ続けた家族たちの語り合う場・後世に語りつぐ場として開設しました。「毎

集会の参加者の平均年齢は高いように見えたので「若い世代」がもっと増えてほしい。民主主義を守るためにも「論破」

## 健友福祉会だより 桃の節句を楽しみました

萩原グループホームちあき

3月3日に萩原グループホームちあきでは、桃の節句イベントを行いました。昼食にはお寿司を注文して、特別な雰囲気を楽しんでもらいました。食事中は利用者さんからリクエストされたマグロ、エビ、穴子などを味わい、普段は食の細かい方もこの日は全部召し上がられました。

午後からは施設内の万葉サロンで、十段飾りのおひなさまを見ながら、地域の和菓子屋で購入したシヨートケーキとひなあられを食べました。

「子どもたちにおひなさまを飾ったことを思い出した」とうれしそうに昔の話をする方もいて、皆で昔の記憶を思い出しながら桃の節句の雰囲気を楽しみました。



「子どもたちにおひなさまを飾ったことを思い出した」とうれしそうに昔の話をする方もいて、皆で昔の記憶を思い出しながら桃の節句の雰囲気を楽しみました。



おやつ後は♪うれしいひなまつり

## ボランティア募集

### 喫茶コーナーで活動しませんか?



昨年9月、4年ぶりに再開したケアハウスちあきの喫茶コーナーも、半年が過ぎました。「ケアハウスの空気が一変した」と、多くの皆さんに好評をいただいています。運営を担っているボランティアさんは「喫茶コーナーは自分たちそれぞれ

の力や考えを出し合っ

いろいろな学べるこのボランティア活動に、あなたも参加しませんか。お待ちしています。▽問い合わせ ☎0586(76)0003



3・1ビキニデー集会で



久保山愛吉氏の墓参行進